

武蔵野市議会だより

E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp HomePage <http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html>

No.305

MUSASHINO
MUNICIPAL
ASSEMBLY

発行日：平成15年4月30日
発行：武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直) 0422-55-7555

第1回市議会定例会

三月三日から開かれた第一回定例会は、三月二十八日に閉会しました。開会当日は市長が平成十五年度施政方針演説を行い、三月五日には、これに対する七人の会派代表質問が行われました。また、今議会では、平成十五年度各会計予算などの審議や、武蔵野市立松蔭庵条例や武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例、中町二丁目・三井不動産マンション計画に関する決議等の議決のほか、八人の議員から一般質問が行われるなど、活発な議論が交わされました。

平成15年度予算が成立

一般会計は543億円

一般会計五百四十三億円を中心とする平成十五年度の各会計予算が、三月二十八日の本会議で可決・成立しました。これによって市政運営の大枠が確定し、各種事業の推進が図られます(三面に施政方針、二・三面に代表質問、四・五面に予算特別委員会審査概要を掲載)。

一般会計予算と四つの特別会計及び一つの企業会計予算は、三月六日に十四名の委員からなる予算特別委員会を設置し、十七日開会の同委で正副委員長の互選を行い、十八日から実質五日間にわたり審査を行い、二十五日の最終日に賛成多数で可決されました。

二十八日の本会議では、平成十五年度一般会計予算、下水道事業会計・国民健康保険事業会計・老人保健(医療)会計・介護保険事業会計の四特別会計、水道事業会計(企業会計)の各予算案について、中里予算特別委員長が委員会での審査経過の報告を行いました。次に、報告に対する質疑の後、市民の党の代表が反対、日本共産党武蔵野市議団の代表が介護保険事業会計予

介護保険条例の一部を改正する条例可決

三月十七日の本会議で、武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例が賛成多数で可決されました。介護保険法第一百七条の規定により、三年ごとに、五年を一期とする市の介護保険事業計画を定めるものとされていますが、今回の改正は、この計画に基づいて介護保険料を改定するものです。改正により介護保険料は第一段階から第五段階までそれぞれ月額換算で、千八百五十円、二千七百七十五円、

三千七百円、四千六百二十五円、五千五百五十円となります。この条例案は厚生委員会に付託され、審査が行われました。

審査の中では、改定幅を抑える努力について、低所得者への配慮について、市民の意見の反映について、介護保険事業計画の整備目標値について等の質疑がありました。

なお、採決にあたり、日本共産党武蔵野市議団の代表が反対討論を行いました。





市長の施政方針

土屋 正忠 市長
Masatada Tsuchiya

市民生活の安全を確保し 未来への礎を

【市長が3月3日の本会議で行った「施政方針」の要旨です】

今年度の重点施策は、第一に防災・防犯両面での市民の安全確保、第二に耐震性に劣る大野田小学校校舎改築、第三に住民基本台帳ネットワークシステムの適正管理である。第三期長期計画第二次調整計画の優先事業は、在宅介護支援センター新設等の高齢者福祉の推進、小児救急医療体制強化等の子ども施策の推進、三鷹立川間連続立体交差事業や農水省跡地活用等を中心とした武蔵境のまちづくりの推進、吉祥寺の総合的なまちづくり、環境施策と緑化推進を行う。

の実施、五日市街道交差点などの道路整備、路線商業の振興、交通ネットワークとバリアフリーへの取り組み、文化施設の充実、スポーツ施設の充実、黒水・赤水対策、歴史資料館構想の具体化、国際・国内交流事業推進、男女共同参画推進、市内産農作物の安全性確保、障害者支援費制度の実施を行う。また、職員定数見直し、情報公開の推進、バランスシートの改善と行政評価基準の作成、環境への職員との連携推進、第四期基本構想・長期計画の策定への着手を実施する。本市の所管事業ではないが、外郭環状道路、都道調布・保谷線、保健所再編、桜堤公園建て替えについては、その推移を注意深く見守り、市民の立場に立って必要な行動を行う。

「施政方針」
「平成15年度施政方針並びに基本的施策」は、武蔵野市役所のホームページ(<http://www.city.musashino.tokyo.jp/>)または市役所2階市政資料コーナーで閲覧することができます。また、市報3月15日号には要旨が掲載されています。



5カ所目のテンミリオンハウスとして境4丁目「きんもくせい」がオープンしました。



たき美世子議員
Miyoko Taki
(社会民主党・市民会議)

ムバス(三鷹)の路線が開通したときに、乗りかえてもムバスで吉祥寺へ行くのがよくなるとの声が聞こえてきた。交通バリアフリーの視点からも、階段の上りおりなしに三鷹から吉祥寺へ行くことができるという事は必要なことである。このことは必要を伺う。直ちにとはいえないが、要望



市独自で判断する問題ではなく、国会立法改正がどのようになるか。このほか、介護を必要とする人と同居していても動き続けられる環境づくり、市内の公共施設をユニバーサルデザイン視点で見直す必要性、ホームヘルパーのレベルアップ研修やコーディネーター研修の実施等についての質問がありました。

介護保険について、制度導入後、低所得者のサービス利用が減少する等、存在意義そのものが問われている。制度導入三年目の見直しに当たり、介護給付費の国庫負担割合引き上げを要求すべきでは、保険料の据え置き、減免制度創設を求めるが、

介護認定者の急激な増加により、保険料を値上げせざるを得ない。減免制度を導入し、減免分を一般会計から繰り入れたとしても、繰り入れる基準の設定が問題となる。

市民の防災意識高揚の施策は、防災の拠点となる小・中学校の耐震補強、水の確保、災害備蓄や耐震診断等を総合的に進めたい。

子どもOS支援センター(仮称)の条例の骨格の一つと想定される立入調査権について、法が予定している取組の権限をどう本市の条例に取り入れるのか。

子どもOS支援センター(仮称)の条例の骨格の一つと想定される立入調査権について、法が予定している取組の権限をどう本市の条例に取り入れるのか。

地方分権は、議論をしっかりと進めなければならない。地方分権を進めるためには、税源委譲と地方交付税改革が必要である。国と地方で三対二の財源配分、所得税の一部を住民税に移譲し一対一にするなど、一括交付金を創設し、地方で自由に使えるようにするなど、効率性を高め、地域ニーズにあったサービス提供を可能にするよう国に求めるべきであるが、市長の見解を伺う。



松本清治議員
Matsumoto Seiji
(民主・市民ネット)

中学校給食の即時実施を
頂などと言わずに、財源の試算など、前向きな取り組みを求める。さまざまな基本論議の必要があり、長期計画策定の過程で議論すべきである。



耐震診断の結果、耐震性に問題のあった大野田小学校校舎の改築が着々と進んでいます。

取組んでいきたい。有料化の場合には、一定量までは無料にするなど、抑制すればお金がかからないという仕組みを設けながら進めていくべきと考えている。



保育園等の待機児解消や多様なニーズへの取り組みを伺う。育児休業明けの一歳児が入所しにくい状況であるが、この点も含め経営改善に努めたい。

このほか、福祉三計画への市民参加の手法の評価等についての質問がありました。

地価や家賃の高さが原因であり、今後さらに研究するつもりだ。イラクをめぐる事態が緊迫している。市として国連査察継続、平和的解決を求め、戦争反対の態度表明をすべきと考えるが所見

国連で議論中であり、成り行きを見守りたい。このほか、消費増税、耐震補強の財政計画、中学校給食、高卒者の就労支援、まちづくり条例等についての質問がありました。



山本ひとみ議員
Hitomi Yamamoto
(市民の党)

市長選の対立候補者によるチラシによる、事実と異なると思われる表現があるが、本市市民は近隣市に比べて50%も多い税金を納めていると書かれているが、真相は、老・成人健康診断は三鷹市と比べて同じサービスが割高だとされているが本当が、市長



中里崇亮議員
Suryo Nakazato
(自由民主クラブ)

多選については批判があるが、弊害や障害があるのなら具体例をあげるべきと考える。市長の見解は、

市の財政状況を市民に知らせる際、市税収入と各種基金の残高や減税補てん償の償還計画の見通しを比較対照できるような情報の提供を考慮すべきではないか。

減税補てん償については今年度の市報特集号で知らせる予定であるが、基金の残高については予定していない。

市長の交際費は多額過ぎ、その内容も社会的政治的に問題がある。見直すべきではないか。

市議会で議決をいただき、目的に沿って粛々と執行していきたい。米英両国によるイラク攻撃が秒読み段階だが、自治体の長として、政府への反対意見書の送付や、両大使館への抗議等の行動をとるべきだと考えるが所見は、

市長の交際費は多額過ぎ、その内容も社会的政治的に問題がある。見直すべきではないか。

うまでもないが、国の施策だ。買った土地を活用せず、利子だけを払いつづけることは非常にむだである。従来から土地開発公社は、疑惑とむだの温床であるとして廃止を訴えてきたが、見解は、

本年から住民基本台帳ネットワークが本格稼働されるが、個人情報等の理由により、住基ネットの切断を行った自治体が出てきた。本市も早急に離脱すべきでは、

今年度、住安、まちの安全等に力を入れて取り組む。このほか、市長交際費、子ども施策の推進、親子ふれあい長期自然体験事業、地域で取り組む環境施策と緑化の推進、緑被率、緑地の確保、大木・シンボルツリー2000計画、市民ニーズに合った公園づくり、歴史資料館等についての質問がありました。

市報特集号で知らせる予定であるが、基金の残高については予定していない。

健康増進法が昨年施行された。国の健康日本21に対応して本市でも本年度、武蔵野版計画を策定するが、国・都に財源支給の動きが考えられているが、

今年から住民基本台帳ネットワークが本格稼働されるが、個人情報の理由により、住基ネットの切断を行った自治体が出てきた。本市も早急に離脱すべきでは、

今年から住民基本台帳ネットワークが本格稼働されるが、個人情報の理由により、住基ネットの切断を行った自治体が出てきた。本市も早急に離脱すべきでは、

介護保険料の据え置きと利用料の助成拡大、学童クラブ事業の充実、農水省跡地利用計画における市民参加、外環道路等の大型道路建設中止、中学校給食の実施、プリーパーク開設等についての質問がありました。

負担の見直し、療養型病床群の整備拡充、障害者支援費制度、高額療養費の限度額の設定、住基ネットの個人情報保護策、子育てや教育のための社会づくり、ジェンダーフリー、市民芸術文化条例制定、スロータウン運動、安心助け合いネットワーク事業についての質問がありました。

介護保険料の据え置きと利用料の助成拡大、学童クラブ事業の充実、農水省跡地利用計画における市民参加、外環道路等の大型道路建設中止、中学校給食の実施、プリーパーク開設等についての質問がありました。

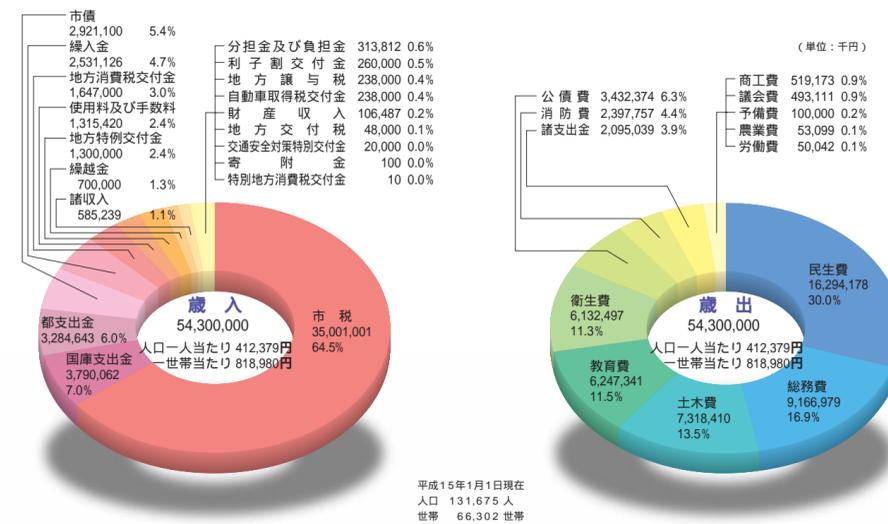
予算特別委員会 審査概要

3月28日の本会議で、平成15年度一般会計予算、下水道事業・国民健康保険事業・老人保健(医療)・介護保険事業の各特別会計予算及び水道事業会計予算がいずれも賛成多数で可決されました。予算審査は、3月6日、委員14名からなる予算特別委員会を設置し、同月17日に正副委員長を選出、25日まで実質5日間で行われました。一般会計は、543億円で、前年度比1億円の増(0.2%増)となり、歳入の根幹をなす市税収入は法人市民税の増収などから、前年度比1.9%増となりました。景気低迷の続く中、本予算は「厳しい財政環境の中で第三期長期計画第二次調整計画の諸事業に着実に取り組む予算」と位置づけられています。以下は各委員から予算執行と財政運営について活発な議論が行われた予算特別委員会の審査概要です。



ごみ出しが困難な高齢者・身体障害者のみの世帯を回る「ふれあい訪問収集」がスタートしました。

平成15年度一般会計歳入歳出予算構成図



平成15年1月1日現在
人口 131,675人
世帯 66,302世帯



中里 崇亮
予算特別委員長

審査した特別委員

平成15年度予算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- | | |
|-------|-------|
| 中里 崇亮 | 松本 清治 |
| 大野まさき | 与座 武 |
| 小林 清章 | 梶 雅子 |
| 古林わか子 | たき美世子 |
| 本間まさよ | 石井 一徳 |
| 金子 武 | 山下 倫一 |
| 赤松 清 | 水野 学 |
- 印: 委員長 印: 副委員長

主要な事業

総務費	
農水省食糧倉庫跡地利用施設建設事業	53,625
吉祥寺シアター(仮称)建設事業	272,680
住民基本台帳ネットワークの外部監査	10,000
松露庵開設	10,000
親子ふれあい長期自然体験事業	5,898
民生費	
公立保育園に「涼」環境を創設するモデル改修事業	21,000
安心助け合いネットワーク事業	3,500
痴呆性高齢者グループホーム整備促進事業	45,000
心身障害者支援費事業	881,579
子どもSOS支援センター(仮称)の設置	—
西久保育園建替補助事業	44,929
衛生費	
粗大ごみ処理施設の更新工事	897,750
「健康日本21」に対応する武蔵野版計画の策定	5,000
小児救急医療運営費補助金	10,000
ごみ出し困難者に対するふれあい職員人件費対応	—
訪問収集事業	
狭い道路地域の特別戸別収集事業	4,587
農業費	
安心ファーム事業	3,000
商工費	
中心市街地活性化連絡会	2,300
土木費	
都市計画道路3・3・14号線吉祥寺駅前広場事業	100,000
鉄道連続立体交差事業	1,037,758
交通バリアフリー事業	32,000
消防費	
境南町市民防災公園(仮称)整備工事	80,000
教育費	
小中学校耐震補強事業	139,000
大野田小学校校舎改築事業	720,958
全国自然活用教育推進大賞(仮称)の実施	5,000
武蔵野地域自由大学	30,168

消防費

向上を

市職員や消防団員の意識向上のために、神戸市にある人と未来防災センターへの研修を行った。また、地域の自主防災組織と連携して、ごみ出しが困難な高齢者・身体障害者のみの世帯を回る「ふれあい訪問収集」がスタートしました。

市職員や消防団員の意識向上のために、神戸市にある人と未来防災センターへの研修を行った。また、地域の自主防災組織と連携して、ごみ出しが困難な高齢者・身体障害者のみの世帯を回る「ふれあい訪問収集」がスタートしました。

教育費

大野田小の安全性は建てかえの安全性は

大野田小の建てかえのいわゆるシミュレーション対策を、有機系化学物質不使用の材料を選定し、種々のチェックを行う。大野田小の耐震面での特色は、通常の1.5倍の耐震力で、高強度コンクリート等も使用している。

パソコン等による情報教育を進める上で重視している点は、ハイテク被害に注意し、情報モラルや情報活用能力を育てたい。独自の三十人学級実現を望む。国や都の方針に準じたい。中学校給食導入を強く望む。長期計画の中で議論したい。幼稚園の教育機能、保育園の養護機能の一元化はよいと考える。ブレ・セカンドスクール事業の概要について伺う。四校で試行するが、十七年度からは全校で実施する予定だ。

総括質疑

市税 わかりやすい説明を

本市の税率が他市に比べ高いと思われている市民がいる。わかりやすい説明をすべきであると考えられている。税率が同じである市税について理解を得るため、十五年度から職員による出張講座を行う。市報にはわかりやすく説明ができるように検討している。

市報にはわかりやすく説明ができるように検討している。

歳入

市債の増加理由を問う

市債が十七億七千万円強増しているが、その理由と所見を伺う。

起債は投資的経費に対して行うものであり、十五年度は投資的経費が大幅に増加したため、それに伴い増加したものである。適性事業であれば、世代間の負担の公平性を図る観点から起債すること

総務費

第四期長期計画策定に向けて

第四期基本構想・長期計画策定にあたり、所見を伺う。

この十二年でさまざまな変化があった。早い段階で策定委員会を立ち上げじっくり議論したい。

吉祥寺グラウンドデザイン策定の基本的なイメージを明確にし、まちづくりの方向性を議論する。

ブルーキャップの活動状況は、悪質サカウトの増加に対し妨害に屈せず積極的の巡回している。

家族で手作り・楽しい食卓

介護保険事業会計

制度改善に向け、国へ提言を

介護保険の制度改善に向け国への提言を求めると伺う。

介護保険は、保険制度になじまないと考え、また、低所得者の負担感が大きい点など、今後問題提起したい。

五年後の見直しに向けた実態調査事業の内容を伺う。

被保険者等の実態調査を行う。現制度の問題点を検証する。介護報酬の改定によるサービス受給者への影響を伺う。

報酬単価が上がるものと下がらぬものがあり、自己負担額への影響は、サービスの組み合わせにより異なる。

民生費

子どもSOS支援センター(仮称)設置に向けての課題は

野に立つて投資的経費の見直しはできないが、まちの再開発は、一挙にできるものではなく、計画的に行うもの。不況等により、財源的な影響を受ける場合もあるが、着実に進めたい。

本市では借金を含めどのような財政状況なのか。

一般会計にかかると債務の累計は二百七十億円。債務保証している土地開発公社分が百四十億円あるが、一方で基金が二百億円あり、その差は税収の一年分に満たず、財政状況は健全であると考えている。

衛生費

老成人健診(三鷹市と比べ高いか)

老成人健診の検診項目と平均単価は三鷹市と比較するとどうなのか。

一人当たりの平均単価は本市の方が一万円ほど高いが、三鷹市で実施していない検査項目の費用の合計だけでも約二十万円になる。本市の健診は非常に精度が高く、範囲も広い内容であると考えている。

ごみのふれあい訪問収集事業は要介護度二以上という要件があるが、要介護度の人も実情に応じて認めてはどうか。

収集体制の関係もあるため、実施しながらよく研究していきたい。

土木費

三鷹・吉祥寺間、ムーバスの新設はあるか

三鷹・吉祥寺間を結ぶムーバスを開設してほしいという声があるが、所見は。

要望があることは認識しているが、ルート等は今後の課題だ。

吉祥寺駅南口再開発について、基本構想の検討は地元住民も参加するのかが、基本的な調査であり、そのような段階ではない。

吉祥寺では放置自転車が増えつつあるが、今後の対策は。

撤去回数の増や利用者マナー向上に努めたい。また、吉祥寺駅周辺に二万所の駐輪場を整備する。

武蔵境駅南口のイトーヨーカドー周辺は洪水が心配だが対策は。

店舗の駐車場不足が主な原因だが、近隣に立体駐車場をつくらなければならない。

成蹊通り延伸の取り組みを伺う。

付近の環境を損なわないよう、地下線を含めて検討している。

福祉の拡充、市民負担の軽減が生かされていない予算

大野まさき議員(反対)

市民の党を代表し、一般会計・4特別会計予算並びに1企業会計予算に反対する。厳しい財政環境の中、経費支出の効率化を図るとのことだが、経費節減が適切なものになっていない。まちづくり等の大型事業費を継続するよりも、高齢者介護や保育環境の充実、中学校給食の実施などの子育て支援等の緊急性の高い福祉政策や、景気対策、市民負担の軽減につながる政策を優先するべきだ。また、キャップ制導入よりも、入札制度改革、第三者機関による補助金支出の監査、武蔵境や吉祥寺の再開発事業の見直し、土地開発公社の廃止、市長交際費の大幅削減、市長専用車の見直し、市幹部職員の外かか団体への天下り廃止等の取り組みを実施するべきである。

「食の安全」など、多くの事業がバランスよく予算化

古林わか子議員(賛成)

民主・市民ネットを代表し、平成15年度一般会計・4特別会計予算並びに1企業会計予算に賛成する。民主・市民ネットが第三期長期計画第二次調整計画を策定する際に策定委員会に提出した要望や市長に提出した予算編成に関する要望が新たに予算化されている。疑問の残る点もあるが、おおむねバランスのよい予算編成と評価する。「食」をめぐる研究チームの発足や遺伝子組み換え食品の定性検査が予算化されたことば「子どもたちに安全な食品を提供する」という姿勢があらわれている。これを中学校給食にも生かすよう要望する。また、子どもSOS支援センター(仮称)の設置に期待する。ごみ問題については、発生抑制を第一に市民に問題提起すべきと考える。

西久保保育園改築などを評価

本間まさよ議員(介護保険事業会計に反対、その他の会計に賛成)

日本共産党武蔵野市議団を代表し、2003年度介護保険事業会計予算に反対、一般会計・その他の特別会計予算並びに1企業会計予算に賛成する。中学校給食の実施や乳幼児医療費助成の所得制限撤廃などが実施されなかったが、西久保保育園でかえ関係の予算が計上された点、高齢者安心助け合いの見守り制度の実現、三鷹駅昇降機設置に向けての調査費が予算計上された点、旧都立武蔵野青年の家跡地の公園化や吉祥寺駅周辺の自転車駐輪場設置なども評価できる。しかし、介護保険事業会計においては保険料の据え置きがなされなかった点、保険料の減免を行わなかった点で反対する。

キャップ制導入のもと 内部努力で健全な財政状況を維持

与座 武議員(賛成)

市議会市民クラブを代表し、平成15年度一般会計・4特別会計予算並びに1企業会計予算に賛成する。3年ぶりのキャップ制復活による厳しい内部努力の結果、健全な財政状況が維持できている。その一方、第四期長期計画での導入を視野に入れた目標管理制度の試行、総合的な防災対策の推進、住基ネット外部監査、小児救急医療体制整備、路線商業活性化支援、文化会館通りの道路景観整備等の重点施策には、限られた財源の中でも思い切った予算づけしており、メリハリの効いた効率的な行政運営を評価する。中高年齢者・障害者の地域雇用支援策の充実、教育長の所信表明の導入、マンション紛争の未然防止等、今後も豊かな市民生活の継続・発展のための努力を要望する。

一方的に地方税制を決める国に是正を求めるべき

たき美世子議員(賛成)

社会民主党・市会議員を代表し、平成15年度一般会計・4特別会計予算並びに1企業会計予算に賛成する。国は自治体の合意なく減税を行い、本市における減税の影響額は50億円に達する。地方分権や財源の移管どころか逆に市の持ち出しをふやされ、納められない。国に対して是正を求める必要がある。税についての出張講座、西久保保育園建替補助事業、小児救急医療体制の整備、ごみ出し困難者に対するふれあい訪問収集、三鷹駅北口の昇降施設整備等の交通バリアフリー事業、学校図書館の図書資料の充実については評価する。乳幼児医療費助成の所得制限の撤廃、ふれあい訪問収集の申請要件の緩和、土曜学校の障害児のための支援体制等を要望する。

時代に即した諸施策計上を評価

赤松 清議員(賛成)

市議会公明党を代表し、平成15年度一般会計・4特別会計予算並びに1企業会計予算に賛成する。本予算より、市民・議会・行政で作る第四期基本構想・長期計画策定に着手する。その予算計上を評価する。41の新規事業、33のレベルアップ事業のうち、福祉・教育関係予算が80%を占め、時代に即した福祉・教育行政の充実という市民のニーズに的確にこたえている。第三期長期計画第二次調整計画の優先事業や諸施策、それ以外の特徴ある事業の実施、国・都との関連事業の取り組み、経常経費の抑制等、行政運営も良好である。厳しい経済状況の中、身近な市政に寄せる市民の期待は大きい。市民のきょう、あすのため全力で予算執行に当たることを求める。

市民生活の安全・安心を保障し、市民に元気と活力をもたらす予算

金子 武議員(賛成)

自由民主クラブを代表し、平成15年度一般会計・4特別会計予算並びに1企業会計予算に賛成する。本年度は第三期長期計画の仕上げとともに、第四期長期計画の策定を視野に入れる必要がある。長期不況の中、市民が安全・安心で活力ある生活を営むための的確な予算と評価する。特に、職員適正化計画による人件費の削減、基金の活用と計画的な財政を裏づけとした、耐震を考えての小学校の改築等、投資的経費の拡大。さらには、庁舎耐震補強設計事業等の、多数の個別事業といった3点について高く評価する。要望として、介護保険利用料7%軽減、子育て支援事業の充実のために乳幼児医療の無料化及び所得制限の撤廃等をお願いし、本予算に全面的に賛成する。

三月二十八日の本会議で、七人の議員から予算に対する賛否の討論が行われました。



4月6日、吉祥寺本町3丁目にオープンした吉祥寺西公園は、周辺住民へのアンケート結果などから公園としての土地利用が決定され、施設配置やデザインについて、策定委員と公募市民がワークショップで話し合いがなされました。

安心して子育てのできるまちへ

梶 雅子議員

- 自治体独自の施策として、乳幼児医療費助成における所得制限の緩和が各地で進んでいる。しかし本市では、多くの親たちが切実に願っているにもかかわらず、何の緩和策も取られていない。所得制限の撤廃を求めるが市長の見解は、
- 都の制度であり、撤廃の考えはない。
- 失業率増などを背景に、就学援助費の受給者がふえているが、世帯主の失業時などは、年度途中から支給することは可能か。
- 急なリストラなど、収入が激減したケース等については、弾力的に運用している。
- このほか、入院時における食事の標準負担額助成についての質問がありました。

「わかる」授業の推進を求む

忠地幸寿議員

- 新学習指導要領や完全学校週5日制の導入により、学校教育は変わろうとしているが、低学年から勉強がわからなくなり、学校へ行かなくなる児童がいると聞く。わかる授業を進めるためにも、少人数学級の取り組みが必要と考えるが所見は、
- 学習が確実に身につくよう、少人数指導やチーム・ティーチング等に加えて、習熟度別指導も視野に入れた学習の充実を図っている。国や都からの少人数指導の加配教員や、市独自の時間講師でも対応したい。
- このほか、保湿度のあるまちづくり、ムーバスのネットワーク化、高齢者の生きがい対策などの質問がありました。

ノーマライゼーション社会の実現を

小林清章議員

- 武蔵野市交通バリアフリー基本構想の発表の時期や国等への送付時期はいつ頃か。また、吉祥寺駅及び三鷹駅北口のエレベーター、下りエレベーターの設置見通しは、
- 構想は4月中には公表、送付したい。鉄道事業者はエレベーター・エスカレーターを平成18年度までに設置の予定である。
- この4月に4年生となる障害児の親たちが、自主的に障害児児童クラブ活動を行うための場所の提供を求めている。学校の余裕教室等、市の施設を提供できないか。
- 学校施設は学校教育活動の専用施設であり、任意の団体に継続的に貸し出すことは、責任上もあり得ない。

中学校給食今こそ検討の時期

田辺あき子議員

- 子どもたちの健全育成のため、中学校給食に関する議論をすべき時が来ている。牛乳給食の見直し、スूप給食の検討、昼食時間の拡大などに対する市の見解及び、食に関する実態調査実施の考えを伺う。
- 第四期基本構想・長期計画の中で議論し、食に関する実態調査も時に応じて行いたい。
- 性同一性障害に配慮し、印鑑証明書、選挙用投票入場はがき等の行政文書は、性別記載欄をできる限り削除できないか。
- 選挙人名簿への記載は法律上の義務。印鑑登録証明書、今は変更する考えはない。
- このほか、西部地域への子育て支援施設の設置等についての質問がありました。

地域子ども館「あそべえ」運営は順調か

金子 武議員

- 昨年10月、三小、井之頭小、境南小の3校に、地域子ども館「あそべえ」がオープンした。子どもたちの仲間づくりや、遊び場の提供をするものとして高く評価するが、3館の利用状況を伺う。学童クラブとの関係は、今後の運営について所見は、
- 1日平均33.7人となっており、上級生と下級生の交流など、充実した活動が行われている。スムーズな交流があり、放課後の過ごし方がふえたと喜ばれている。校庭開放や図書館開放とも統合した、一回り大きな運営を予定している。
- このほか、ベビーボーナス、市長選立候補者の主張についての質問がありました。

中学校給食の検討内容を問う

新井くみ子議員

- 長年の中学校給食実施要求に対し、市はいまだ検討するという姿勢にとどまるが、これまで検討した内容と試算金額を伺う。
- 長期計画の検討事項としてアンケート調査等を行った。積算金額は3億円程度だ。
- 談合防止として、業者間の顔ぶれがわからないよう郵送で入札受付をすべきでは、
- 郵送は考えていないが、電子入札等については都と一緒に研究している。
- 図書館長を公募した理由を伺う。
- 現在の館長の定年に伴い、広く人材を求めて識見のある方を得るために行った。
- このほか、図書館の学習スペースの対応などについての質問がありました。

化学物質から子どもを守る環境づくりを

古林わか子議員

- アレルギー症状を持つ子どもが増加している。子どもが1日の大半を過ごす学校の室内環境の安全を守るため、アレルギーの原因とされる化学物質を教室から排除していく必要があると考えるが、大野田小学校改築ではどのような対応を予定しているのか。子どもが入り出る公共施設でも、室内化学物質の測定をするべきではないか。
- 有機系の化学溶剤を用いない無垢な建材を発注仕様書で指定する等、配慮したい。
- 15年度は、公立保育園等にも学校環境衛生基準に基づく空気の検査を行う予定だ。
- このほか、本市における学校選択制の導入などについての質問がありました。



旧古瀬邸が老朽化に伴う全面改修を終え、本格的な茶室をもつ松露庵として新装オープンしました。茶道、華道、句会など日本の伝統文化の様々な活動の場として期待されます。

一般質問



第1回定例会で、3日目の3月6日、市政全般について8名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(6月初旬発行予定)または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第1回定例会分は5月21日登録予定)をご覧ください。

一般質問とは、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質すことをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます
<http://kensakusv.city.musashino.tokyo.jp/kaigiroku/>



JR中央線連続立体交差事業による武蔵境駅への切り替えに伴い、3月21日に駅舎では全国で初めてとなるエレベーターが、29日にはエスカレーターが設置されました。

議員出席表

平成14年4月1日から同15年3月31日までの議員出席表がまとまりました。議員は、表に記載してある会議のほかに議会外活動として各種の委員を兼ねています。また、正副議長も各委員会等に随時出席していますが、出席表には記載してありません。表中、議運は議会運営委員会、議会報は議会報

運営委員会、鉄農は、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会、外環は外環道路反対特別委員会、決算は平成13年度決算特別委員会、予算は平成15年度予算特別委員会の略称です。平成14年6月に委員会の改選があったため、所属委員会が変わった議員がいます。

(14.4.1 ~ 15.3.31)

議席番号	議員氏名	本会議		全員協議会		常任委員会				議運	議会報	特別委員会				合計	
		出席	欠席	出席	欠席	総務	文教	厚生	建設			鉄農	外環	決算	予算	出席	欠席
1	松本 清治	17	0	1	0			8	1			11	8	5	6	57	
2	松村 勝人	17	0	1	0			1	8	16						43	
3	大野まさき	17	0	1	0	1		8		15			5		6	53	1
4	島崎 義司	17	0	1	0					8	3	11	8	5		53	
5	欠 番																
6	与座 武	17	0	1	0	1			8						6	33	
7	小林 清章	16	1	1	0	8			1	18			5		6	56	2
8	河原しゅう	17	0	1	0	9					1			5		33	
9	梶 雅子	17	0	1	0			8					5		6	37	
10	山本 敬男	17	0	1	0	1	8						5		3	32	
11	古林わか子	17	0	1	0			9			3	12			6	48	
12	山本ひとみ	17	0	1	0		7				12	8				45	2
13	欠 番																
14	田中 節男	17	0	1	0	8			1	19	11	8		5		70	
15	井口 良美	17	0	1	0	9										27	
16	忠地 幸寿	17	0	1	0			9		3		7	5			42	1
17	たき美世子	17	0	1	0			9		19		8	5	5	6	70	
18	田辺あき子	17	0	1	0			1	8			8				35	
19	本間まさよ	17	0	1	0			9		19	11	8			6	71	
20	小川将二郎	17	0	1	0					9						27	
21	露木 正司	17	0	1	0	1	8					8		5		40	
22	新井くみ子	16	1	1	0			8	3					5		34	1
23	中里 崇亮	17	0	1	0	1	8				1		5	5	6	44	
24	石井 一徳	17	0	1	0		8				16					6	48
25	金子 武	17	0	1	0			9					5			38	
26	山下 倫一	17	0	1	0		8		1	16	1				6	50	
27	寺山光一郎	17	0	1	0	8					11		5	5		47	
28	桜井 和実	17	0	1	0	8						12				38	
29	赤松 清	17	0	1	0	1	8					12		5	6	50	
30	水野 学	17	0	1	0	8					19	1	5		6	57	

市民の安全を第一に

山本敬男議員

- 吉祥寺駅東口の客引きが激減したことは評価したい。一方で吉祥寺サンロード入口付近では、スカウトマンが多く見られるが、実態の把握や対策を伺う。
- ブルーキャップの活動について時間帯を含めて検討したい。また、警察と常時連絡をとりながら取り組んでいきたい。
- ホワイトイグルが、市内の施設を巡回パトロール中に不審者情報を受けた場合、どのように対処しているのか。
- 1時間程度、施設周辺を警戒し、さらに1週間程度、周辺の巡回に当たる。
- このほか、昨年度及び今年度の生活安全計画についての質問がありました。



「ホイ捨て・迷惑喫煙防止キャンペーン」が2月23 - 26日、吉祥寺・三鷹・武蔵境の3駅前を実施され、市民団体や市職員などがまちの美化と喫煙マナー向上を訴えるとともに、路上清掃を行いました。

2 特別委員会最終報告

鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会報告

本委員会は、高架複々線問題の解決、高架下に付随する問題の解決、農林水産省食糧倉庫跡地の利用計画など、設置目的の解決に向け鋭意努力を重ねてきた。高架複々線問題・高架下に付随する問題については、その解決に向けて、仮線工事が着々と進行する中、平成14年12月には東京都とJR東日本から武蔵境新駅舎のデザイン(案)が提示されるなど、事業が大きく進展した。農林水産省食糧倉庫跡地の利用については、平

外環道路反対特別委員会と鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会は平成15年3月定例会最終日までを設置期限として、それぞれ外かく環状道路問題、三鷹・立川間連続立体交差事業及び農水省跡地利用問題の審査を続けてきたが、3月28日の本会議でこれまでの活動の報告を行った。鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会は継続審査案件もあり、平成15年4月末日まで設置期限を延長することとなった。

成13年3月に設置された新公共施設基本計画策定委員会が、跡地の南側半分に建設される公共施設について、市民ヒアリングを実施しながら検討を進め、本委員会は平成14年4月に策定委員会委員との意見交換会を実施した。また、全国各地の先進的な複合施設、図書館等を視察して新公共施設について検討を行い、「農水省跡地利用に関する陳情」、ほか1件、及び平成14年12月に提出された2件、計4件の陳情審査を行った。平成15年2月には策定委員会から「新公共施設基本計画策定委員会報告書」が市長に答申された。このような状況の中、高架複々線問題・高架下に付随する問題については武蔵境駅仮駅舎も完成し、平成18年度完成を目標に工事が着々と整備

されており、今後も事業の進捗を見守っていく必要がある。また、農林水産省食糧倉庫跡地の利用については、具体化に向けさらに検討を重ね、今後とも動向を見極める必要がある。



JR から提示された武蔵境駅デザイン案(北口から見た駅舎)

外環道路反対特別委員会次期議会でも設置を

昭和41年、外かく環状道路についての建設計画が発表された。本市においては、市内東部地区を南北に横断する延長約1.4キロメートルが該当するため、住民の生活環境に重大な影響を及ぼすとして、昭和42年に特別委員会を設置して以来、30数年余り、外環道路計画白紙撤回を主軸に反対運動を進めてきた。今議会においても、本道路の建設計画に反対するため、平成11年6月16日に特別委員会を設置。さらに、平成13年6月には設置期限を平成15年3月定例会最終日まで延長し、積極的な運動を展開してきた。

その間、国土交通大臣や都知事による現地視察が行われ、平成13年4月に、国、都より「東京外かく環状道路(開越道~東名高速間)の計画のたたき台」が提出された。8月には、国、都より高速道路で全国初のPKパブリック・インボルブメント方式を採用した協議会の設置が提案され、平成14年6月にPI外環沿線協議会が発足した。これにより、多くの住民の意見を聞く場が設けられ、意見交換が進みつつある。一方、平成15年1月に、国、都より大深度地下利用法の適用方針が示され、地下方式での建設が提案された。これは、地下案は1つの案にすぎないとしているものの、計画に対する地元住民の十分な理解が得られないまま、提案されたものである。このような状況下で、今後も外環道路建設計画の動向を見据えつつ、地元住民の意見を尊重し、計



平成13年1月、反対派住民が見守る中、国土交通大臣が現地を視察

第1回定例会で可決された意見書・決議は5件で、意見書については政府へ提出しました。その要旨は次のとおりです。

次事項を日本政府の基本姿勢とすることを強く要望する。
一、国連決議に基づかない軍事行動すべてに反対すること。
二、唯一の被爆国として平和的解決に貢献すること。
(内閣総理大臣あて)

意見書

固定資産税における償却資産につき、納税者が納得して納税でき、申告しやすい環境を整えるため、次の事項について、強く要望する。
一、固定資産税における償却資産の免税点を基礎控除に改め、控除額を大幅に引き上げることを。
(総務大臣あて)

意見書

患者負担増の凍結・見直しに関する意見書
医療費の患者負担は、たび重なる改定により、患者個人の大幅な負担増となった。このことが受診を抑制し、国民の健康維持に悪影響をもたらすのではないかと多くの医療担当者が懸念している。よって、患者負担増の撤回が必要と考えるが、当面の負担軽減措置として、高齢者医療の自己負担の見直し及び健保本人の三割負担を凍結することを求める。
(内閣総理・厚生労働大臣あて)

今回のアメリカ、イギリスなどによる軍事行動は、国連憲章第二章第四項が全面的に禁じている先制武力攻撃である。また、日本国政府がこのような軍事力の行使を支持することは、国連中心主義の

外交方針からも大きく逸脱する。よって政府に対し、アメリカ、イギリスなどによる軍事行動への支持を撤回し、アメリカ、イギリスなどが軍事行動を即時停止するよう国際社会に働きかけること、国連による事態の平和的解決の実現を行うことを強く求める。
(内閣総理・外務大臣あて)

決議

中町二丁目・三井不動産マンション計画に関する決議
指導要綱は、建築基準法だけでは達成できない地域の特性に応じたまちづくりのルールであり、本市では法令で定める手続の前に市長に申し出て審査、承認を受けなければならない。三井不動産は指導要綱の手続中にも関わらず、民

指導要綱は、建築基準法だけでは達成できない地域の特性に応じたまちづくりのルールであり、本市では法令で定める手続の前に市長に申し出て審査、承認を受けなければならない。三井不動産は指導要綱の手続中にも関わらず、民

決議

指導要綱は、建築基準法だけでは達成できない地域の特性に応じたまちづくりのルールであり、本市では法令で定める手続の前に市長に申し出て審査、承認を受けなければならない。三井不動産は指導要綱の手続中にも関わらず、民

決議

指導要綱は、建築基準法だけでは達成できない地域の特性に応じたまちづくりのルールであり、本市では法令で定める手続の前に市長に申し出て審査、承認を受けなければならない。三井不動産は指導要綱の手続中にも関わらず、民

議案の審議(可決)結果一覧

第1回定例会

【市長提出議案(26件)】

- 武蔵野市職員定数条例の一部を改正する条例可決(全会一致)
- 武蔵野市個人情報保護条例の一部を改正する条例可決(全会一致)
- 市が保有する個人情報の管理強化のため、外部の団体による監査制度を設けるもの
- 武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例可決(全会一致)
- 一般職の職員の給与改定(住居手当の減額を含み2.05%引き下げ)を行うもの
- 武蔵野市国民年金印紙調達基金条例を廃止する条例可決(全会一致)
- 国民年金保険料収納事務の国への移管により基金を廃止するもの
- 武蔵野市立松露庵条例可決(全会一致)
- 茶会等の伝統文化に親しむ場として武蔵野市立松露庵(桜堤1-4-22)を開設するため
- 武蔵野市福祉サービス利用料条例の一部を改正する条例可決(賛成多数)
- 高齢者緊急通報システム事業ほか2事業の有料化と居宅介護サービスの利用料改定を行うもの
- 武蔵野市立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例可決(賛成多数)
- 武蔵野市立老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例可決(賛成多数)
- 武蔵野市心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例可決(賛成多数)
- 武蔵野市難病者福祉手当条例の一部を改正する条例可決(賛成多数)
- 武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例可決(賛成多数)
- 武蔵野市給水条例の一部を改正する条例可決(全会一致)
- 水道法の一部を改正する法律等の施行に伴い、貯水槽水道に関する規定を設けるもの
- 平成14年度武蔵野市一般会計補正予算(第4回).....可決(全会一致)
- 基金への積み立て、公園用地の購入等を内容とするもの
- 平成14年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回).....可決(全会一致)
- 平成14年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第2回).....可決(全会一致)
- 平成14年度武蔵野市老人保健(医療)会計補正予算(第2回).....可決(全会一致)
- 平成14年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回).....可決(全会一致)
- 平成15年度武蔵野市一般会計予算可決(賛成多数)
- 平成15年度武蔵野市下水道事業会計予算可決(賛成多数)
- 平成15年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算可決(賛成多数)
- 平成15年度武蔵野市老人保健(医療)会計予算可決(賛成多数)
- 平成15年度武蔵野市介護保険事業会計予算可決(賛成多数)
- 平成15年度武蔵野市水道事業会計予算可決(賛成多数)
- 平成15年3月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例可決(賛成多数)
- 平成15年3月における武蔵野市特別職等の職員の期末手当に関する条例可決(賛成多数)
- 平成15年3月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例可決(全会一致)

【議員提出議案(5件)】

- 議員提出議案第1号 固定資産税における償却資産に関する意見書可決(全会一致)
- 議員提出議案第2号 イラク問題と平和に関する意見書可決(全会一致)
- 議員提出議案第3号 患者負担増の凍結・見直しに関する意見書可決(全会一致)
- 議員提出議案第4号 中町2丁目・三井不動産マンション計画に関する決議可決(全会一致)
- 議員提出議案第5号 イラクへの軍事行動即時中止と、国連による平和的解決に関する意見書可決(賛成多数)



陳情 審議結果

- 採択
患者負担増の凍結・見直しに関する陳情
- 都市計画税の軽減措置に関する陳情
- 小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置に関する陳情
- 新議会での外環道路反対特別委員会設置に関する陳情
- 障害者の介護保険料の減免または補助に関する陳情
- 「平和の意見書」の提出に関する陳情
- 継続分の採択
中町二丁目・三井不動産マンション計画反対に関する陳情
- 固定資産税における償却資産に関する陳情
- 取り下げ
境五丁目(仮称)武蔵境マンション
- 建設に関する陳情
- 都市計画税の軽減措置に関する陳情
- 小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置に関する陳情
- 米国の対イラク戦争反対、有事法制制定の取りやめに関する陳情
- 関前南こどもクラブ保留児予定者全員受け入れに関する陳情

議会傍聴においでください

傍聴は誰でも自由にできますのでお気軽におこしください。定例会の開催月は3、6、9、12月です。市議会定例会の傍聴を希望される方は、当日、市役所8階の議場入口前の傍聴受付で、所定の手続きを行ってください。傍聴席は一般席のほか、車椅子を使用される方のための席もございます。委員会の傍聴を希望される方は、当日、市役所7階の議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名等を記入してください。委員会に諮った後、傍聴できます。なお委員会の傍聴席は30席です。お問い合わせは市議会事務局へ。

議会ダイアル

- 自由民主クラブ 60-1884
- 民主・市民ネット 60-1889
- 市議会市民クラブ 60-1885
- 市民の党 60-1890
- 市議会公明党 60-1887
- 日本共産党武蔵野市議団 60-1888
- 社会民主党・市民会議 60-1886

各党派議員控室の直通電話番号です
TEL 0422-60-1883
E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp
HomePage http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html

INFORMATION

永年勤続議員表彰

2月13日開催の東京都市議会議員研修会において、東京都市議会議長会より永年勤続議員として次の議員が表彰され、その伝達式が3月3日の本会議で行われました。

- 15年以上勤続 本間まさよ 中里 崇亮
- 7年以上勤続 河原しゅう 古林わか子
- 忠地 幸寿 露木 正司

With you vol.5

テンミリオンハウス事業の第1号として、市民から市に寄贈された民家を改修し、平成11年にオープンしたのが「川路さんち」です。西久保地域の有志で結成された「萩の会」が昼食やおやつサービスを提供し、利用者は思い思いに自由な時間を過ごしています。また、地域の小・中学校の校外学習を積極的に受け入れるなど、世代間交流も行われています。

